

小さなまちでも成立する空き家ビジネスモデルの構築 (一財)下川町ふるさと開発振興公社

課題と目的	空き家ビジネスを検討し、流通加速化による地域課題の解決を目指す
取組内容	民間事業者との事業連携による空き家ビジネス自立化に向けた検討 住宅の不動産価値維持に向けた検討と意識啓発
成果	実現可能性の高い方向性が示され、次年度以降の事業化に目途がついた リーフレットの制作・配布により、住宅長寿命化の意識醸成のきっかけとなった

■ 民間事業者との事業連携の検討

- ・ 地域における空き家ビジネスとして、**コーディネート組織が司令塔となり地域全体が一つの組織**となり取り組む

■ 自立化のための事業コンテンツ・スキームの検討

- ・ 実際の**空き家改修現場のデータ**や実務者からへの**ヒアリング**を基に、自立化のための**事業コンテンツ**や**スキーム**を検討
- ・ 過去の**取引実績**や**各種収益の根拠**をもとにコーディネート組織の**ビジネスシミュレーション**を実施



■ 住宅の不動産価値維持に向けた長寿命化の検討

- ・ 北国の実情にも即した**住宅管理ポイント**の抽出、整理

■ 住宅長寿命化へのリーフレットの制作、配信

- ・ 住宅長寿命化の意識啓発
リーフレットを制作・配布
- ・ 行政情報告知端末による配信

